

1. 基本情報						
事務事業番号	02053	事務事業名	市道・橋梁台帳整備事業		担当部	建設部
政策名	002	くらし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)			担当課	建設施設管理課
施策名	003	快適生活の基盤づくりの推進			担当課長	園畑 精一
基本事業名	002	道路ネットワークの構築と道路施設の維持			グループ	道路管理グループ
予算科目目	会計 一般会計 款 08 土木費 項 01 土木管理費 目 01 土木総務費	事業期間	単年度のみ 単年度繰返(開始年度 平成17年度 ~) 期間限定複数年度(~)			
評価区分	標準評価	評価対象	2次評価	根拠法令・条例等	道路法、道路法施行規則	
				関連計画	特になし	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>						
(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)						
<p>市道の管理を行うために、市が管理する道路や橋梁の台帳(図面)を整備する。 市道や橋梁の認定・廃止・変更手続きを行い、その後、台帳の補正を実施する。 台帳を整備することで、市有地と民地の境界が明確になり、市道の全体像を把握し、機能確保を図れる。</p>						

活動指標 (事務事業の活動量)	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (見込)	令和2年度 (見込)	令和3年度 (見込)
ア 認定・変更・廃止路線数	本	44	20	25	20
イ					
ウ					

(2) 事務事業の目的						
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (左記 対象の 大きさを表す指標)	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (見込)	令和2年度 (見込)	令和3年度 (見込)
ア 市道(認定・認定外)	市道延長	Km	1,629	1,630	1,629	1,630
イ 橋梁	橋梁数	橋	653	653	654	654
ウ						
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (左記 意図の 達成度を表す指標)	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (目標)	令和2年度 (目標)	令和3年度 (目標)
ア 市道・橋梁の情報が管理できる	霧島市道路台帳再編計画達成度	%	100	100	100	100
イ						
ウ						

(3) 総合計画との関係						
基本事業の目的、取組方針(総合計画より)						
<p>建設現場へのICTの導入など、新たな整備手法を視野に入れながら、交通環境の整備や改善に向けた取組を推進します。 特に、市街地の渋滞を解消するため、国道・県道の整備に関する要望活動を継続的に行うとともに、幹線道路のバイパス道路や地域の拠点施設を結ぶアクセス道路等の整備を推進し、道路ネットワークの構築を図ります。 また、道路施設や橋梁・トンネルなどの個別施設ごとに策定する長寿命化計画等に基づき、予防保全対策及び補修等を計画的に実施します。</p>						

3. 前年度の評価表に記載した課題	
平成31年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)	
市有財産の管理及び地方交付税等の資料として必要不可欠なものであるため、継続して事業を行い、整備・改良等の完了した道路等を調査測量し台帳に反映させる。	

4. 事業費の推移		単位	30年度 決算	31年度 当初予算	2年度 当初予算	3年度 計画
事業費 投入量	財源内訳	国庫支出金	千円 0	0	0	0
		県支出金	千円 0	0	0	0
		地方債	千円 0	0	0	0
		その他	千円 0	0	0	0
		一般財源	千円 4,724	7,140	5,409	6,887
	事業費	千円 4,724	7,140	5,409	6,887	6,887

5. 平成31年度の実績及び成果	
(1) 平成31年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成31年度の実績(取組)による成果を記載
道路・橋梁台帳補正 3.76km(25路線及び1橋 計28箇所・市内一円)	<p>道路・橋梁台帳の整合性を保つため、前年度に道路改良等工事が完成し、変更の生じた道路等について台帳補正を行った。 また、補正を行った路線等について、区域決定及び共用開始の告示を行った。 道路台帳・橋梁台帳を整備することにより、市道の整備や維持業務の効率化と、市道に係る許認可申請に対する利便性・迅速性が向上するとともに、地方交付税の算定基礎となる道路数値を把握することができた。</p>

事務事業 番号	02053	事務 事業名	市道・橋梁台帳整備事業	担当部	建設部
				担当課	建設施設管理課

6. 振り返り <SEE (check) >			
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？	
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である	
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である	
	結びついていない	見直す必要がある	
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？	
	向上する余地はかなりある	影響がある	
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある	
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない	
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	
	削減できない	削減できない	
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある	
	削減できる	削減できる	
D 公 平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？		
	公平・公正である		
	見直す必要がある		
総合評価判定基準		総合評価	理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A	市道（行政財産）を管理するうえで、台帳整備は不可欠なものであるため。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の 事 業 向 成 果 性 (成 果)	拡 充			
		維 持			レ
		縮 小			
		休廃止（統合含む）			
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
		コスト投入（予算）の方向性			
(2) 令和 2年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	財産管理及び地方交付税等の資料として必要不可欠なものであることから、整備・改良等が完了した箇所以外の宅地開発により市へ寄贈された道路についても市道認定が可能な道路については認定したうえで、調査測量を実施し台帳へ反映させる。				
(3) 令和 3年度の方向性 (具体的な取組)	道路改良等に伴い完成した道路等の道路台帳調書・道路台帳図への反映・整備。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	職・氏名	建設部長	猿渡 千弘
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の 事 業 向 成 果 性 (成 果)	拡 充			
		維 持			レ
		縮 小			
		休廃止（統合含む）			
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
		コスト投入（予算）の方向性			
(2) 総評	これまでどおり、市道や橋梁の認定、廃止、変更があった際には、道路および橋梁台帳の補正を行い、市道の整備や維持管理を行う。				

1. 基本情報						
事務事業番号	02062	事務事業名	道路維持管理事業	担当部	建設部	
政策名	002	くらし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)			担当課	建設施設管理課
施策名	003	快適生活の基盤づくりの推進			グループ	道路維持グループ
基本事業名	002	道路ネットワークの構築と道路施設の維持			内線番号	2761
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	08	土木費		単年度繰返(開始年度 平成18年度 ~)	
	項	02	道路橋梁費		期間限定複数年度(~)	
目	目	01	道路橋梁維持費	根拠法令・条等	道路法(第16条)	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	特になし	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)
 霧島市全域の市道の維持管理のため、清掃や修繕・改修を行う事業。主な業務内容は次のとおり。
 市道の陥没や側溝閉塞(落ち葉などで水路が詰まること)、雑草等により見通しの悪い箇所などを通常巡回や、利用者からの通報により把握
 現場状況確認
 実施要否判断
 関係機関と協議
 修繕や改修工事・委託の発注
 工事委託終了後の検査
 日常的に住民が使用する生活道路については、清掃等を周辺地域の自治体に協働で行ってもらっている。

活動指標(事務事業の活動量)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(見込)	令和2年度(見込)	令和3年度(見込)
ア 道路補修・側溝修繕箇所数	箇所	577	700	603	700
イ 草払い延長	Km	643	800	785	800
ウ					

(2) 事務事業の目的

対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(左記対象の大きさを表す指標)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(見込)	令和2年度(見込)	令和3年度(見込)
ア 市道利用者及び周辺住民	人口	人	124,785	126,230	124,367	124,181
イ 霧島市内の市道	市内の市道延長	Km	1,608	1,608	1,608	1,608
ウ						

意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(左記意図の達成度を表す指標)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(目標)	令和2年度(目標)	令和3年度(目標)
ア 安全に通行できる	対応率(修繕対象箇所数/改修が必要と判断された箇所数)	%	85	87	85	87
イ 良好な状態に保たれる	対応率(修繕対象箇所数/改修が必要と判断された箇所数)	%	85	87	85	87
ウ						

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)
 建設現場へのICTの導入など、新たな整備手法を視野に入れながら、交通環境の整備や改善に向けた取組を推進します。
 特に、市街地の渋滞を解消するため、国道・県道の整備に関する要望活動を継続的に行うとともに、幹線道路のバイパス道路や地域の拠点施設を結ぶアクセス道路等の整備を推進し、道路ネットワークの構築を図ります。
 また、道路施設や橋梁・トンネルなどの個別施設ごとに策定する長寿命化計画等に基づき、予防保全対策及び補修等を計画的に実施します。

3. 前年度の評価表に記載した課題

平成31年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)
 道路の維持管理に関する市民からの要望については、緊急性の高いものについて優先的に対応していく。
 また、維持管理業務の取組を組織的に協議し、今後も業者委託以外のものについては、職員や作業員、地域ボランティア活動等との連携を取りながら対応していく。

4. 事業費の推移

事業費	単位	30年度決算	31年度		2年度当初予算	3年度計画
			当初予算	決算		
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
県支出金	千円	0	0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
一般財源	千円	302,246	306,249	304,889	334,199	312,550
事業費	千円	302,246	306,249	304,889	334,199	312,550

5. 平成31年度の実績及び成果

(1) 平成31年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成31年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
道路補修・側溝修繕を603件実施した。(国分地区が241件、隼人地区が158件、溝辺地区が54件、横川地区が38件、牧園地区が35件、霧島地区が46件、福山地区が31件)また、その内、まちづくり計画にある要望も128件実施した。 ・道路維持管理・高所木伐採を21件実施した。(国分地区5件、隼人地区9件、溝辺地区1件、横川地区2件、牧園地区1件、福山地区2件) ・草払いを業務委託で786km実施した。 ・月曜日にパトロールを実施し、道路の不具合箇所を発見してもらった。	市道等における市民からの要望・苦情に対して、緊急に補修・修繕等の必要な箇所については、道路補修・側溝修繕等を実施し、要望・苦情を解消し、市民の安全な通行を図ることができた。

事務事業 番号	02062	事務 事業名	道路維持管理事業	担当部	建設部
				担当課	建設施設管理課

6. 振り返り <SEE (check) >

A 目的 妥当性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	

総合評価判定基準	総合評価	理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討	A	市道の維持管理は道路法に基づき管理者である市の責務であるが、道路の劣化により年々修繕箇所が増え、高齢化により市道の草払いの要望が増えていることから、維持管理費が増加しており、経費確保に苦慮している状況である。このような状況であるが、住民からの要望・苦情も増加していることから、事業費の削減の余地はない。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)

		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>				
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の 事 業 向 成 果 性 ()	拡 充			レ	
		維 持				
		縮 小				
		休廃止（統合含む）				
			皆 減	縮 小	維 持	拡 大
		コスト投入（予算）の方向性				
(2) 令和 2年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	道路の維持管理に関する市民からの要望については、緊急性の高いものについては早急に対応していく。また、草払い等については、今後も業者委託以外は、職員や作業員、地域ボランティア活動等との連携を取りながら対応していく。					
(3) 令和 3年度の方向性 (具体的な取組)	委託業者及び市職員による市道パトロール強化に努め、危険箇所等を早期発見し、災害や事故等の未然防止を図る。道路の安全を確保することは、市民生活に直結しており、市道の維持管理業務は必要不可欠であることから、今後も増加していく要望等に迅速に対応する。					

8. 2次評価結果 (担当部長評価)

						評価者	職・氏名	
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の 事 業 向 成 果 性 ()	拡 充					レ	
		維 持						
		縮 小						
		休廃止（統合含む）						
			皆 減	縮 小	維 持	拡 大		
		コスト投入（予算）の方向性						
(2) 総評								

1. 基本情報						
事務事業番号	02064	事務事業名	道路アダプト制度事業		担当部	建設部
政策名	002	くらし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)			担当課	建設施設管理課
施策名	003	快適生活の基盤づくりの推進			担当課長	園畑 精一
基本事業名	002	道路ネットワークの構築と道路施設の維持			グループ	道路維持第2グループ
予算科目	会計 一般会計	事業期間	単年度のみ 単年度繰返(開始年度 平成24年度 ~) 期間限定複数年度(~)			
目	款 08 土木費	根拠法令・条等	特になし			
	項 02 道路橋梁費	関連計画	特になし			
	目 01 道路橋梁維持費					
評価区分	標準評価	評価対象	2次評価			

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>							
(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)							
道路アダプト制度実施要綱により、市民団体・事業者団体などを募集し、応募した団体が霧島市内の市道及び国道の主要幹線道路で延長400m以上の道路敷地を、(1)年2回以上の道路の草払い(2)道路の清掃(ポイ捨てゴミ等の収集・処分)(3)道路の破損等の情報提供の活動を行う。事業費については、道路保全(草払い)区間に応じて、1団体につき30,000円~50,000円を限度に活動支援金を交付する。また、アダプトの道路区域には、アダプトサイン(看板)を設置する。これにより道路の環境及び機能の維持向上を図る。 道路アダプト制度 目的:道路の環境保全及びその機能の向上を図るため、美化活動を行う市民活動団体等と市が共に協力し、支え合う共生・協働による快適で美しいまちづくりを推進する。 対象となる団体:5人以上で構成する市内の企業等の法人又は地区自治公民館、自治会、老人クラブ、PTAその他活動の継続性が保たれる市民活動団体。 対象となる道路:市道は、市が定めた道路(主要幹線道路)、国道・県道は市と協議がなされた道路で実施。							
活動指標 (事務事業の活動量)							
	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (見込)	令和2年度 (見込)	令和3年度 (見込)		
ア	道路アダプト制度の実施により、参加団体を募って、道路の草払い、清掃等を実施する	団体	66	75	65	75	
イ							
ウ							
(2) 事務事業の目的							
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (左記 対象の大きさを表す指標)	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (見込)	令和2年度 (見込)	令和3年度 (見込)	
ア	市民団体及び事業者団体	市民団体及び事業者団体数	団体	66	75	65	75
イ	霧島市内の市道・国道の主要幹線道路	指定道路及び指定区間延長	Km	121	125	127	134
ウ							
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (左記 意図の達成度を表す指標)	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (目標)	令和2年度 (目標)	令和3年度 (目標)	
ア	アダプト制度登録団体数を増やす	この事業により道路環境保全に取り組む市民団体・事業者団体数(累積)	団体	66	75	65	75
イ	草払い・清掃活動等が行われる	アダプトによる道路の草払い延長(累積)	Km	60	65	63	70
ウ							
(3) 総合計画との関係							
基本事業の目的、取組方針 (総合計画より)							
建設現場へのICTの導入など、新たな整備手法を視野に入れながら、交通環境の整備や改善に向けた取組を推進します。 特に、市街地の渋滞を解消するため、国道・県道の整備に関する要望活動を継続的に行うとともに、幹線道路のバイパス道路や地域の拠点施設を結ぶアクセス道路等の整備を推進し、道路ネットワークの構築を図ります。 また、道路施設や橋梁・トンネルなどの個別施設ごとに策定する長寿命化計画等に基づき、予防保全対策及び補修等を計画的に実施します。							

3. 前年度の評価表に記載した課題		4. 事業費の推移					
平成31年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)		単位	30年度 決算	31年度 当初予算	2年度 当初予算	3年度 計画	
引き続き、自治会等を中心とした登録団体の加入を斡旋するとともに、企業等の民間会社へ参加を依頼するなど、登録団体の加入増を図り、道路の環境美化や機能を維持していく。		事業費	千円	0	0	0	
		国庫支出金	千円	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	
		その他	千円	2,500	3,000	2,400	
		一般財源	千円	20	10	150	
		事業費	千円	2,520	3,010	2,550	

5. 平成31年度の実績及び成果	
(1) 平成31年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成31年度の実績(取組)による成果を記載>
令和元年度で新規登録団体とし4団体を追加登録し、また脱退団体が5団体の合計65団体による草払い・清掃等実施延長が63.2kmであった。	道路環境及び道路機能の維持向上が図られ、安全で快適に移動できるようになった。

事務事業 番号	02064	事務 事業名	道路アダプト制度事業	担当部	建設部
				担当課	建設施設管理課

6. 振り返り <SEE (check) >

A 目的 妥当性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	

総合評価判定基準	総合評価	理由
A: 継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B: 事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C: 事業の統合、休・廃止の検討	A	当該事業は市道等の安全な通行が確保され美観景観的な観点からも必要不可欠なものである。また、市民活動団体等と市が協力し支え合う共生・協働による美化活動も推進されるため継続して取り組むことが適当であると考えられる。しかし、既存及び新規活動団体への書類のやりとりや説明、問い合わせ等職員が要する時間が増加していることから必要書類等の見直しを行い簡素化を図れるよう改善をすることが必要である。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)

		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充			レ
		維 持			
		縮 小			
		休廃止（統合含む）			
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
		コスト投入（予算）の方向性			
(2) 令和 2年度の改革改善の内容（取り組むべき課題）	引き続き、自治会等を中心とした登録団体の加入を幹旋するとともに、企業等の民間会社への参加を依頼するなど、登録団体の加入増化を図り、道路の環境美化や機能を維持していく。				
(3) 令和 3年度の方向性（具体的な取組）	引き続き、道路アダプト登録団体の増加を図るとともに、既存登録団体の登録期間更新を依頼し、継続したアダプト制度の充実を図る。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)

				評価者	職・氏名	建設部長	猿渡 千弘
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充					レ
		維 持					
		縮 小					
		休廃止（統合含む）					
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大		
		コスト投入（予算）の方向性					
(2) 総評	登録団体数は横ばいで推移しているものの、脱退する団体もあることから、活動における課題等について確認を行ったうえで、登録団体の増加に向けた検討を行う。						

1. 基本情報						
事務事業番号	02096	事務事業名	都市公園管理事業	担当部	建設部	
政策名	002	くらし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)		担当課	建設施設管理課	
施策名	004	地域特性に応じた魅力ある空間の形成		グループ	公園管理グループ	
基本事業名	002	公園・広場等の整備と適切な維持管理		内線番号	2891	
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	08	土木費		単年度繰返(開始年度 平成17年度 ~)	
	項	05	都市計画費		期間限定複数年度(~)	
目	目	04	公園費	根拠法令・条例等	都市公園法、霧島市都市公園条例	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市公園施設長寿命化計画	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>						
(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)						
霧島市の城山公園及び丸岡公園を除く都市公園について、指定管理者で運営・管理を行う。 現在指定管理者と協定締結している。 国分都市公園指定管理(18公園) 指定管理者:一般財団法人 霧島市施設管理公社 指定期間:H27.4.1~R2.3.31 隼人等都市公園指定管理(35公園) 指定管理者:公益社団法人 霧島市シルバー人材センタ 指定期間:H28.4.1~R3.3.31						

活動指標 (事務事業の活動量)	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (見込)	令和2年度 (見込)	令和3年度 (見込)
ア 指定施設数	施設	53	53	53	54
イ					
ウ					

(2) 事務事業の目的						
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (左記 対象の大きさを表す指標)	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (見込)	令和2年度 (見込)	令和3年度 (見込)
ア 市民	人口	人	124,785	126,230	124,367	124,181
イ						
ウ						
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (左記 意図の達成度を表す指標)	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (目標)	令和2年度 (目標)	令和3年度 (目標)
ア 安心・安全・快適に利用できる。	利用者アンケートによる「期待した以上だった」「期待通りだった」「まあまあだった」の割合	%	87.40	90	92.55	90.50
イ 安心・安全・快適に利用できる。	年間利用者	人	221,016	222,000	165,804	222,100
ウ						

(3) 総合計画との関係						
基本事業の目的、取組方針(総合計画より)						
地域性等を考慮し、利用者の視点に立った多様なニーズに対応した公園づくりを進め、公園緑地の充実を図るとともに、公園施設の定期的な点検を実施し、利用者の安全確保に努めます。 また、地域住民と連携した公園の維持管理を推進します。						

3. 前年度の評価表に記載した課題	
平成31年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)	
公園施設長寿命化に基き調査結果を踏まえ、緊急度により優先順位を付け修繕や撤去を行う。	

4. 事業費の推移		単位	30年度 決算	31年度 当初予算	2年度 当初予算	3年度 計画
事業費投入量	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0
		その他	千円	0	0	0
		一般財源	千円	38,489	41,878	41,830
	事業費	千円	38,489	41,878	41,830	40,916

5. 平成31年度の実績及び成果	
(1) 平成31年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	
【指定管理料実績】	
国分都市公園指定管理	20,335,160円
隼人等都市公園指定管理	18,942,596円
【備品購入費】	
乗用芝刈機購入(国分都市公園)	2,552,727円
国分都市公園利用者数	101,962人
隼人都市公園	63,842人
(2) 平成31年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>	
適切な維持管理(清掃・剪定・修繕等)により安心、安全、快適に利用できる公園としての機能が確保できた。	

事務事業 番号	02096	事務 事業名	都市公園管理事業	担当部	建設部
				担当課	建設施設管理課

6. 振り返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		総合評価
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A
		理由 市民の憩いの場である公園の安全性、利便性及び機能確保のため指定管理者による公園管理を行うことは、行政の効率化、経費削減のため有効であるとともに、利用者のニーズに対応したサービスの向上により利用拡大を図れる。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充			
		維持			レ
		縮小			
		休廃止（統合含む）			
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入（予算）の方向性			
(2) 令和2年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	公園長寿命化計画及び点検結果に基づき、緊急度、優先度に応じた修繕や遊具の撤去を行い、適切な維持管理に努める。				
(3) 令和3年度の方向性 (具体的な取組)	引き続き、公園長寿命化計画に基づき、施設の修繕、改修を推進していく。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者				職・氏名	
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充					
		維持					
		縮小					
		休廃止（統合含む）					
		皆減	縮小	維持	拡大		
		コスト投入（予算）の方向性					
(2) 総評							

1. 基本情報						
事務事業番号	02097	事務事業名	城山公園管理事業	担当部	建設部	
政策名	002	くらし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)		担当課	建設施設管理課	
施策名	004	地域特性に応じた魅力ある空間の形成		グループ	公園管理グループ	
基本事業名	002	公園・広場等の整備と適切な維持管理		内線番号	2891	
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	08	土木費		単年度繰返(開始年度 平成17年度 ~)	
	項	05	都市計画費		期間限定複数年度(~)	
目	04	公園費		根拠法令・条例等	都市公園法及び霧島市都市公園条例	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市公園施設長寿命化計画	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

【施設の概要】
 城山公園(国分)は、昭和53年に開園し多種施設を兼ね備えた総合公園で、敷地面積は15万8594㎡で、展望台(6階建725㎡)、休憩室(180㎡)観覧車、ゴーカート場(全長1300m)、電気自動車場、パターゴルフ場、児童広場(3600㎡)芝広場、SL展示、駐車場(268台)などの施設があります。営業時間は、9時30分~18時(4月1日~9月30日)9時30分~17時(10月1日~3月31日) 月曜日(休業日)

【指定管理者】
 公益社団法人 霧島市シルバー人材センター
 指定管理期間 平成27年4月1日~令和2年3月31日
 令和 2年4月1日~令和7年3月31日

活動指標(事務事業の活動量)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(見込)	令和2年度(見込)	令和3年度(見込)
ア 指定施設数	施設	1	1	1	1
イ 指定管理者による自主事業実施数	件	18	18	19	18
ウ					

(2) 事務事業の目的

対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(左記対象の大きさを表す指標)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(見込)	令和2年度(見込)	令和3年度(見込)
ア 市民	人口	人	124,785	126,230	124,367	124,181
イ						
ウ						

意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(左記意図の達成度を表す指標)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(目標)	令和2年度(目標)	令和3年度(目標)
ア 安心・安全・快適に利用できる。	利用者アンケートによる「期待以上だった」「期待通りだった」「まあまあだった」の割合	%	96.60	96.70	97.60	96.80
イ 安心・安全・快適に利用できる。	年間利用者(有料遊具利用者数等)	人	98,479	101,893	91,566	102,000
ウ						

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)
 地域性等を考慮し、利用者の視点に立った多様なニーズに対応した公園づくりを進め、公園緑地の充実を図るとともに、公園施設の定期的な点検を実施し、利用者の安全確保に努めます。
 また、地域住民と連携した公園の維持管理を推進します。

3. 前年度の評価表に記載した課題

平成31年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)
 園内の40年以上経過した研修センターは、経年劣化により外壁や屋上にクラックや剥離がみられることから、一体的に改修を行うことで、安全で安心して利用できる公園環境の推進を図ることを検討する。

4. 事業費の推移

事業費	単位	30年度	31年度		2年度	3年度
		決算	当初予算	決算	当初予算	計画
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
県支出金	千円	0	0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
一般財源	千円	16,832	16,007	19,736	19,800	19,800
事業費	千円	16,832	16,007	19,736	19,800	19,800

5. 平成31年度の実績及び成果

(1) 平成31年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成31年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<p>【指定管理料実績】 城山公園指定管理料 17,832,650円 公園内のゴーカート(2人乗)2台を新規購入し、供用を開始した。 備品購入費 1,903,000円</p>	<p>適切な維持管理(清掃・剪定・修繕等)により安心、安全、快適に利用できる公園としての機能が確保するとともに、ゴーカートの備品購入ができたことで公園の魅力向上につなげることができ、市民の方が利用しやすい公園管理が実施できた。</p>

事務事業 番号	02097	事務 事業名	城山公園管理事業	担当部	建設部
				担当課	建設施設管理課

6. 振り返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		総合評価
A: 継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B: 事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C: 事業の統合、休・廃止の検討		A
		理由
		市民の憩いの場である公園の安全性、利便性及び機能確保のため指定管理者による公園管理を行うことは、行政の効率化、経費削減のため有効であるとともに、利用者のニーズに対応したサービスの向上により利用拡大を図れる。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>				
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充				
		維持			レ	
		縮小				
		休廃止（統合含む）				
			皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入（予算）の方向性				
(2) 令和2年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	指定管理者による適正な管理を行うとともに、公園施設長寿命化計画に基づき、緊急度、優先度により撤去、修繕を行う。					
(3) 令和3年度の方向性 (具体的な取組)	引き続き、指定管理者による適正な管理を行うとともに、公園長寿命化に基づく施設の改築・改修を推進する。					

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者				職・氏名	
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充					
		維持					
		縮小					
		休廃止（統合含む）					
			皆減	縮小	維持	拡大	
		コスト投入（予算）の方向性					
(2) 総評							

事務事業 番号	02097	事務 事業名	城山公園管理事業	担当部	建設部
				担当課	建設施設管理課

9. コストの推移

(単位:千円)		平成31年度(決算)	令和2年度(当初予算)	令和3年度(計画)	
01	報	0	0	0	
02	給	0	0	0	
03	職員手当等	0	0	0	
04	共済費	0	0	0	
05	災害補償費	0	0	0	
06	恩給及び退職年金	0	0	0	
07	賃	0	0	0	
08	報償	0	0	0	
09	旅	0	0	0	
10	交際	0	0	0	
11	需用	0	0	0	
	消耗品費	0	0	0	
	燃料費	0	0	0	
	食糧費	0	0	0	
	印刷製本費	0	0	0	
	光熱水費	0	0	0	
	修繕料	0	0	0	
	賄材料費	0	0	0	
	飼料費	0	0	0	
	医薬材料費	0	0	0	
12	役員	0	0	0	
	通信運搬	0	0	0	
	広告料	0	0	0	
	手数料	0	0	0	
	保険料	0	0	0	
13	委託料	17,833	19,800	19,800	
14	使用料及び賃借料	0	0	0	
15	工事請負費	0	0	0	
16	原材料費	0	0	0	
17	公有財産購入費	0	0	0	
18	備品購入費	1,903	0	0	
19	負担金補助及び交付金	0	0	0	
20	扶助	0	0	0	
21	貸付金	0	0	0	
22	補償補填及び賠償金	0	0	0	
23	償還金利子及び割引料	0	0	0	
24	投資及び出資金	0	0	0	
25	積立金	0	0	0	
26	寄附金	0	0	0	
27	公課費	0	0	0	
28	繰出金	0	0	0	
	計	19,736	19,800	19,800	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		その他の	0	0	0
	一般財源	19,736	19,800	19,800	
	計	19,736	19,800	19,800	

平成31年度 補正・流用状況

当初予算	16,007
補正予算	1,826
補正第8号	1,826
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
流用・充用	1,914
予算合計	19,747

平成31年度当初予算には平成30年度からの繰越分を含む

平成31年度 特定財源内訳

区分	名称	金額
		0
		0
		0
		0
		0
		0
		0
		0
		0
		0
		0
		0
		0
		0
合 計		0

1. 基本情報						
事務事業番号	02098	事務事業名	丸岡公園管理事業	担当部	建設部	
政策名	002	くらし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)		担当課長	園畑 精一	
施策名	004	地域特性に応じた魅力ある空間の形成		グループ	公園管理グループ	
基本事業名	002	公園・広場等の整備と適切な維持管理		内線番号	2891	
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	08	土木費		単年度繰返(開始年度 平成17年度 ~)	
	項	05	都市計画費		期間限定複数年度(~)	
	目	04	公園費	根拠法令・条例等	都市公園法及び霧島市都市公園条例	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市公園施設長寿命化計画	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)
【施設の概要】
丸岡公園(横川)は、昭和43年に開園し多種施設を兼ね備えた総合公園で、敷地面積は27万2000㎡で、緑地公園、運動場、日本庭園、ゴーカート場(約1000m)スロープカー、遊具、バンガロー、レストラン等の施設があります。また公園施設の他にや園内には、農業交流センターや横川勤労者技術研修館が併設しております。公園施設の営業時間は、9時~17時 毎週火曜日(休業日)
【指定管理者】
きりしまPPP株式会社 指定管理期間 平成29年4月1日~令和4年3月31日

活動指標(事務事業の活動量)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(見込)	令和2年度(見込)	令和3年度(見込)
ア 指定施設数	施設	1	1	1	1
イ 指定管理者による自主事業実施数	件	11	11	12	11
ウ					

(2) 事務事業の目的

対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(左記対象の大きさを表す指標)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(見込)	令和2年度(見込)	令和3年度(見込)
ア 市民	人口	人	124,785	126,230	124,367	124,181
イ						
ウ						
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(左記意図の達成度を表す指標)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(目標)	令和2年度(目標)	令和3年度(目標)
ア 安心・安全・快適に利用できる。	利用アンケートによる「期待した以上だった」「期待通りだった」「まあまあだった」の割合	%	90	91	91	92
イ 安心・安全・快適に利用できる。	年間利用者	人	106,103	106,500	116,245	107,000
ウ						

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)
地域性等を考慮し、利用者の視点に立った多様なニーズに対応した公園づくりを進め、公園緑地の充実を図るとともに、公園施設の定期的な点検を実施し、利用者の安全確保に努めます。
また、地域住民と連携した公園の維持管理を推進します。

3. 前年度の評価表に記載した課題

平成31年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)
緑地広場の芝管理を定期的に行い良好な景観を保つと併し、公園施設長寿命化に基づく調査結果を踏まえ緊急度により順位をつけて修繕・撤去を行う。更に今年度クラウドゴルフ九州大会次年度に団体の公開競技大会が開催されることから緑地広場の芝の管理を行うと併し園内の環境整備向上も図る。

4. 事業費の推移		単位	30年度決算	31年度当初予算	2年度当初予算	3年度計画
事業費投入量	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0
		その他	千円	0	0	0
		一般財源	千円	13,657	12,165	12,479
	事業費	千円	13,657	12,165	12,479	12,231

5. 平成31年度の実績及び成果

(1) 平成31年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成31年度の実績 <左記の実績(取組)による成果を記載>
【指定管理料実績】 丸岡公園指定管理料 12,479,456円	適切な維持管理や景観を考慮した樹木管理により安心、安全、快適に利用できる公園としての機能が確保できた。

事務事業 番号	02098	事務 事業名	丸岡公園管理事業	担当部	建設部
				担当課	建設施設管理課

6. 振り返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		総合評価
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A
		理由
		市民の憩いの場である公園の安全性、利便性及び機能確保のため指定管理者による公園管理を行うことは、行政の効率化、経費削減のため有効であるとともに、利用者のニーズに対応したサービスの向上により利用拡大を図れる。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充			
		維持			レ
		縮小			
	休廃止(統合含む)				
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入(予算)の方向性			
(2) 令和2年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	緑地広場の芝管理を適切に行い良好な景観を保つとともに、公園施設長寿命化計画に基づき、緊急度、優先度を考慮し、修繕改修を行う。				
(3) 令和3年度の方向性 (具体的な取組)	引き続き、公園長寿命化計画に基づき、施設の改修、改築を推進する。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者				職・氏名	
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充					
		維持					
		縮小					
	休廃止(統合含む)						
		皆減	縮小	維持	拡大		
		コスト投入(予算)の方向性					
(2) 総評							

